



第49回全国高等学校総合文化祭
日本音楽部門参加の邦楽部員



第107回全国高校野球選手権香川大会で
ベスト4進出の野球部員

観音寺
第一高校

同窓会報



令和7年度

立校会
香川県立
観音寺第一高等学校
同窓会

ご挨拶



同窓会会長 大久保 健二
(観一41年卒)

同窓会会員の皆様、いつもご支援・ご協力いただきありがとうございます。

昨年は、会費を変更して二年目となりましたが、皆様のご協力により、予定どおり母校や後輩たちへの支援をさらに充実することができました。本当にありがとうございます。

さて、これ以降の内容は昨年と重複しますが、節目でもありますので、再度書かせていただきます。現在のような同窓会体制になりましたのは約三十年前でした。

それまでは、同窓会総会は限られた役員だけが集まる形でした。支部も地元では数支部が活動するのみでした。また、毎年の収入は現役学生の入会金三〇〇〇〇円のみでしたので、新入生が三〇〇名なら九十万円ということでした。

主な活動は、十年ごとに周年行事を実施、それに合わせて寄付を募り、母校への支援事業をすることができました。したがって、毎年母校への支援ができる状況ではありませんでした。一番違うところは、限られた役員のみで運営されていたことで、そ

れはそれで大変だったことと思います。

私が初めて周年行事に関わったのは、二〇〇〇年の創立一〇〇周年事業でして、周年行事の大変さを思い知らされたものでした。

こうしたなか、同窓会の新たな出発の基本的な考えは、できるだけ多くの同窓生に活動に関わっていただくこととなりました。

そのため毎年会費をいただくことを決め、それを原資に毎年母校・後輩への支援をするともに、総会を多くの同窓生の懇親の場となるよう、二学年でお世話するようにいたしました。また毎年会報を発行し、同窓生全員にお送りするようにしました。(現在は一家庭に一部となっております。)

決議の場も、理事会・幹事会・総会と三段階になりました。



校長 猪熊 眞次
(観一60年卒)

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

創立百二十六年の歴史と伝統を誇る母校の校長職を拝命し、その職責の重さを日々実感するとともに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、母校の更なる発展のために誠心誠意努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今春は、全日制課程一九七名、定時制課程十二名の新生を迎え新年度がスタートしました。この数は平成七年度の半数以下であり、三十年間で生徒数が半減したことになります。一方、進学実績は、このように生徒数が減少した中ではあります。近年でも現浪合わせて毎年百名ほどが国公立大学へ進学しています。また、この五年間の進学先をまとめると、東京大学、京都大学をはじめとするいわゆる国

またこの間支部組織も拡大され、多い年には五〇〇名余りの方に会費を納入いただき、おかげをもちって毎年母校や後輩たちへの支援ができるようになったというのが、この三十年のおよその経緯です。

しかしながら、昨今の少子化の波は母校にも訪れ、現在では全校生徒が六〇〇人台と、私たち団塊の世代の一年を下回る状況となってしまいました。昨年の出生数をみると、十年後十五年後がどのようになるのか、大変危惧される状況であります。

青春時代のかげがえのない思い出である「観音寺第一高等学校」。我が母校が三観地区の核として、永久に輝き続けるよう願うばかりです。同窓生の皆様にも、格段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。我らに「燃ゆる希望あり」「高き矜持あり」「重き使命あり」。いつもこの言葉にパワーをもらっています。

公立難関大学のすべての大学や、国公立大学の医学部医学科にも進学しており、「努力すれば観一から行けない大学はない」という状況が続けることができていると思います。

また、今や本校の代名詞でもあるスーパーサイエンスハイスクール(SHS)事業でも、昨年度行われた文部科学省による中間評価では、全国の実施校の中では最高ランクの評価をいただくことができました。本校のSHSは、文系・理系関係なく全校生に対して「イノベーションマインドと独創的・科学的な問題解決力を育成する」取組として、これからの社会で活躍できる生徒の育成に取り組んでおります。

一方、部活動では、全国高校総体に陸上部員七名が出場し、男女の棒高跳びで共に入賞するなど活躍しました。また、放送部が香川県代表として全国高校放送コンテストに出場。邦楽部、写真部、美術部、書道部、コーラス部、演劇部、電気部、化学部、生物部が、地元香川県で開催された全国高校総合文化祭に出場しました。また、野球部が夏の県大会で公立高校では唯一準決勝まで進出し、大いに健闘しました。四月の着任以来、本部や各支部の同窓会総会等に出席させていただき、本校の同窓会組織が、他に類を見ないほど充実していることを実感するとともに、そのような組織があったこそ母校の生徒達に様々なご支援をいただくことができるのだというところを実感しました。引き続き、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

叙勲に際して 母校の皆様へのメッセージ



神戸大学名誉教授 薄井 洋基
(観一40年卒)

このたび令和六年秋の叙勲で、瑞宝中綬章を拝受いたしました。これはひとえに長年にわたりご支援、ご厚誼を賜った多くの関係者のお陰だと深く感謝申し上げます。また受章に際しましては、地元観音寺市や三豊市をはじめ多くの方々からご祝辞を賜りました。こころより御礼申し上げます。

私は山本町立辻小学校に在学中に、下肢の病に罹り、長期欠席の末、小学校を七年間で卒業しました。以来七十年間に渡って身障者の生活を送ってきています。三豊中学校を卒業するまでは、コルセットを装着して通学していましたが、観一高に入学すると同時に、杖歩行となりました。当時は市販のステッキ等は無く、母が近くの木工所で白木の杖を作ってもらい、これを使用していましたので、友人などは私に視力障害があるようだと考える人もいたようです。高校在学中は、郷土の大先輩である大平正芳先生が、ちょうど外務大臣を務められていた時期でした。母校を訪問されて全校生徒の前に大きな身体を揺らせて熱弁を振るい、後輩を激励されたことが、鮮烈な記憶として残っています。

ものつくりを通して社会に貢献したいと考えていた私は、京都大学工学部化学工学科に入学し、学部・大学院・研究員として十一年間、京都大学にお世話になりました。一九七六年に山口大学に赴任した私は、山口大学教授を経て二十一年後の一九九七年に神戸大学教授に異動しました。神戸大学では十八年間お世話になりました。この間、海外の三大大学の招聘研究員、招聘教授を経験し、合計五十年間の大学生活を送りました。私の専門は化学

工学(ものつくり)に関連する生産プラントの設計手法の開発)であり、基礎研究としてはレオロジー(流れ学)を研究対象としてきました。この間の研究室所属の学生・大学院生や同僚、国内外の共同研究者に大変お世話になったことを、改めて御礼申し上げます。私が神戸大学工学部長の時代に、呑み友達であった観一高の卒業生で私の四年後輩の三木明徳先生(元神戸大学保健学研究科長)と二人で母校の生徒さんを激励し、併せて神戸大学へのリクルートを行おうと、母校を訪問したことが懐かしく思い出されます。

神戸大学副学長の時代には、理化学研究所の次世代スパーコンピュータの設置場所選定の公募があり、関西地区の産官学コンソーシアムの代表としてプレゼンを行い、最終的に神戸市ポートアイランド地区への設置が決定しました。また、スパコン「京」に隣接した場所に「神戸大学統合研究拠点を設置して二〇一一年四月に供用開始することができました。

私は二〇一五年三月に神戸大学を退職して後、山口県に住まいを移し地元の青少年の環境教育に携わっています。実験を主体とした現役時代の研究は継続することが困難で、むしろ自然科学と心理学や哲学の融合分野に関心を向けて、「こころの回復力(レジリエンス)の強化」を目指して、多世代への働きかけを行っています。

E-mail hiro-usui@mtj.biglobe.ne.jp

略歴

- 一九六五年 香川県立観音寺第一高等学校 卒業
- 一九六九年 京都大学工学部化学工学科 卒業
- 一九七五年 工学博士(京都大学)
- 一九八九年 山口大学工学部講師、助教授を経て山口大学教授(工学部)
- 一九九七年 神戸大学教授(工学部・応用化学科)
- 二〇〇四年 神戸大学 工学部長
- 二〇〇七年 神戸大学 理事 副学長
- 二〇〇九年 神戸大学を定年退職 神戸大学名誉教授
- その後、常勤の神戸大学学長補佐、非常勤の神戸大学特別顧問を経て神戸大学を退職
- 二〇一五年 神戸大学を退職
- 二〇二四年 瑞宝中綬章 受章

総会だより

令和七年度同窓会総会は五月二十五日(日)十二時から、観音寺グランドホテルで262名の出席で盛大に開催されました。

感謝とともに未来へ

奥田 拓己(観一57年卒)
豊田 孝子(観一57年卒)

昭和57年卒学年幹事として、本年五月二十五日、二六〇名を超える同窓生の皆様をお迎えし、令和七年度同窓会総会・懇親会を盛会裏に終えることができました。

一月より事務局・同級生の皆さんと準備を重ね、五月には母校に足繁く通い席次や名簿づくりに奔走。支えてくださった先人・諸先輩の温かな導きなくして今日の喜びはございません。また懇親会を担った平成七年卒の若き仲間の誠実さと結束力には、還暦を迎えた私たちも胸を熱くし、エネルギーをいただきました。当日は同級生と肩を並べ、写真撮影に受付、走り回る姿に青春がよみがえり、母校と郷土の絆の深さを再確認しました。これからも「観一スピリッツ」を胸に、次代へバトンをつなげてまいります。ご協力に心より感謝申し上げます。

結びに、校歌の一節「我らに高き矜持あり」を胸に、故郷観音寺の発展に寄与しつつ、再会の喜びを重ねられることを願っています。皆様どうぞお健やかに、またお会いしましょう。



令和七年同窓会総会を終えて

尾池 章良（観一平7年卒）
千野恵美子（観一平7年卒）

本年、懇親会担当幹事として、初めて同窓会総会に参加をさせていただきました。当初は何も分からず、手探りの中での準備となりましたが、事務局の皆様や三十三回卒幹事団の先輩方、四十六回卒幹事団の仲間たちのご協力のおかげで、無事に役目を終える事が出来ました。心より御礼申し上げます。

年次幹事を引き受けて以来、幹事団の仲間と何度も集まり、話を重ねる中で、三十年の時の隔たりを一緒に縮めてくれました。母校で過ごした日々が今なお私たちの心の根幹にしっかりと息づいていることを、改めて実感する事ができました。今後は、全国に散らばる同級生が故郷に帰って来やすい場を設け、同窓会を通じてより一層絆が深められることを願っています。

そして何より、観音寺第一高校の同窓会が、今後も世代を超えて交流を深め母校とのつながりを大切にする場として末永く発展していくことを心より祈念いたします。未筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



令和8年度 同窓会総会について

- ・令和8年5月24日（日）12時から開催する予定で計画しています。
- ・出席希望の方は、令和8年4月以降に、各学年幹事の方を通して申し込みをお願いします。
- ・年次幹事が不明の場合は、以下の観一同窓会HPの同窓会総会のページから案内状・出席申込書をダウンロードして、お申し込みください。 <https://www.kldousou.jp/>

令和六年度
事業報告

1 会議の開催

第一回理事会

令和六年四月七日（日）十四時
観音寺第一高等学校百周年記念館

- (1) 令和五年度事業報告、決算報告について
- (2) 部活動振興奨励費の使途について
- (3) 令和六年度事業計画案、予算案について
- (4) 令和六年度同窓会総会について
- (5) 監査の推薦について
- (6) その他

令和六年度幹事会について
支部総会について

第二回理事会

令和六年五月十一日（日）十四時
観音寺第一高等学校百周年記念館

- (1) 令和五年度事業報告、決算報告について
- (2) 部活動振興奨励費の使途について
- (3) 令和六年度事業計画案、予算案について
- (4) 令和六年度同窓会総会について
- (5) 監査の選出について
- (6) その他

総会

令和六年五月二十六日（日）十二時
観音寺グランドホテル

在校生に対する育英事業
奨学金 120,000円 十名

学校・生徒への援助事業
部活動振興奨励費 1,000,000円

SSHアメリカ研修補助 100,000円 三名
会員の顕彰

年費の徴収

6,338,054円（三月三十一日現在）
同窓会報の発行

令和六年十月一日発行 20,293部発送
資料館・先輩文庫の整備事業

ホームページの管理・運営
卒業生住所調査 令和七年三月実施

その他

支部総会
（豊浜・岡山・財田・善通寺・仁尾・豊中・高松・観音寺
大野原・京阪神・詫間・東京・松山・奥戸観一各）

令和六年度 収支決算報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	決算額	摘要
繰越金	3,568,151	3,568,151	前年度からの繰越金
入会金	666,000	642,000	3,000円×214名（全日制 214）
会費・一般寄付	6,000,000	6,983,440	入会件数 3,294 寄付件数 41(256,000円) 郵貯120周年通帳より繰入970,000円 利息1,993円
雑収入	5,849	971,933	
合計	10,240,000	12,165,524	

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	決算額	摘要
会議費	20,000	16,215	役員会・理事会・幹事会（お茶代）
広報費	600,000	584,790	会報印刷(495,000円)、会員章(89,790円)
調査費	16,000	18,275	卒業時の住所調査葉書代
振興奨励費	1,300,000	1,300,000	部活動振興奨励1,000,000円 SSHアメリカ研修費100,000円×3名
育英基金繰出	4,000,000	4,000,000	
旅費	250,000	234,450	各支部総会
事務費	150,000	75,813	通信費、事務用品
同窓会報等委託輸送費	2,600,000	2,674,257	20,293通、振込手数料880円
年会費・寄付振込手数料等	0	645,386	
慶弔費	50,000	3,300	電報
雑費	100,000	96,673	街頭灯電気、入会金返金、卒業アルバム、 総会資料、記念リボン
予備費	1,154,000	0	
合計	10,240,000	9,649,159	

3. 収支決算

(単位 円)

収入決算額	支出決算額	差引残高
12,165,524	9,649,159	2,516,365

年度末残高 2,516,365円（百十四銀行）

4. 積立基金

10,221,030円

観音寺信用金庫 5,056,982円（定期預金）
ゆうちょ銀行 5,164,048円（定額貯金）

5. 令和六年度香川県立観音寺第一高等学校同窓会育英基金

収入の部

支出の部

(単位 円)

項目	決算額
繰越金	845,126
今年度繰入金	4,000,000
利息	977
合計	4,846,103

項目	決算額	摘要
奨学金	1,200,000	1万円×12ヶ月×10名
振込手数料	0	
合計	1,200,000	

年度末残高 3,646,103円（百十四銀行）

監査報告

関係諸帳簿について、監査の結果、正当と認めます。

令和7年4月1日

監査 石川義昭

監査 貞廣教夫

監査 西原加根

支部だより

東京支部

令和六年度の東京支部総会・懇親会は十一月三十日、ホテル雅叙園東京にて開催いたしました。河野憲治様(観一56年卒・NHK所属)にお手伝いただいた「三世代、今を語る」のイベントで、若い俳優の殺陣の即興もあり、盛り上がりしました。参加者は二百名で満席。本年度は、十一月十五日(土)浅草ビューホテルで開催します。

支部会長 青山 秀彦(観一47年卒)
幹事長 久保 和美(観一47年卒)



京阪神支部

令和六年度京阪神支部総会・懇親会は、十一月九日(土)大阪市内の北京料理「徐園」にて開催しました。会員の高齢化が進む中、退会が目立つ一方、若手会員の新規加入を望み難い現状か

ら、参加人数が百名を切るといった少し寂しい会合となりました。

また、会報誌「巨艦」については、厳しい財政状況等から、本年度はやむなく休刊とさせていたいただきました。

なお、本年度の総会は、十一月八日(土)昨年と同じ「徐園」にて開催予定です。

支部会長 小山 正辰(観一46年卒)
幹事長 藤田 修一(観一40年卒)

岡山支部

令和七年度岡山支部総会・懇親会は、六月二十九日「サンビーチ岡山」にて開催しました。藤村本部副会長、猪熊校長ら来賓含め三六名の出席でした。懇親会では初めての試みとして出身中学別にテーブルを分け、クイズに大盛り上がりでした。九月初旬に「岡山観一会だより」を発刊いたします。秋は「青春会来春には「史跡巡り」を行います。

支部会長 尾崎 美樹(観一55年卒)
事務局長 小出 博(観一43年卒)



松山支部

令和六年度の松山支部総会は十一月二十九日に道後友輪荘で開催されました。コロナウィルスのために久しぶりの総会。香川光男氏(観一49年卒)の弾き語りで大いに盛り上がりしました。

愛媛香川県人会会長には松山支部役員の倉本逸男氏(観一50年卒)が就いています。これからは松山支部及び県人会で色々なイベントを考えています。ご協力をお願いいたします。

事務局長 宮本 成雄(観一49年卒)

高松支部

例年どおり十月の第一土曜日の十月四日土曜日、十五時三〇分からJRホテルクレメント高松「飛天の間」にて開催いたします。今年は観一〇Bのガリベンズ矢野氏のスペシャルトークを予定しておりますので楽しい時間を共有できると考えています。申し込みはLINEのオープンチャットを開いていただき、「観音寺一高同窓会高松支部」を検索いただくと誰でも申し込み可能です。会費は男性九〇〇〇円、女性八〇〇円です。大勢の皆様の参加をお待ちしております。電話でお申し込みの方、事務局の中村氏あて〇八〇・三三六三九三二まで早めにご連絡ください。

坂出支部

昨年実施の「うどん打ち」は、秋空の下、テント前に据えた竈から立ち昇る湯けむりを眺めながら、永井美登里氏(観一55年卒)率いる「ビスケット」の皆さんの演奏をバックに、のど自慢や合唱で大いに盛り上がりしました。秋は法泉寺の紅葉狩り、春は朝日山森林公園の

花見と、気楽な懇親を進めています。是非とも未参加の方からのご連絡をお待ちしております。

支部長 合田 耕造(観一41年卒)

丸亀支部

令和六年度の支部総会はコロナの影響染状況等を鑑みて開催を見送りました。一月二十三日(木)、支部同窓会の継続と発展に多大なる貢献をされました三野末見会長(観一44年卒)が死去されました。令和七年度の支部総会は九月二十日(土)オークラホテル丸亀にて、故三野会長への敬意と感謝の気持ちを込めて開催します。

事務局長 土井 理裕(観一55年卒)

善通寺支部

令和七年度観一同窓会善通寺支部総会を七月六日にZENキューブにて開催いたしました。本部より大久保会長、藤川事務局長、母校より猪熊校長先生の御臨席を賜りました。総会の後、会員発表北野先生の「健康体操」、脳神経外科行天先生の「健康問題」の後、偕行社かふえにて昼食会が行われ、母校と同窓会の話合いが、楽しく行われました。

支部長 佐竹 貢(観一31年卒)

観音寺支部

令和六年度観音寺支部総会は、大久保会長小山校長方々の来賓をお招きし、グランドホテルにて開催。懇親会ではアトラクションに、睦風・高嶋睦徳さんによる詩吟、三好順子さん所属の「ひだまり」によるフォークソング、横山功さんのギター演奏などで盛り上げていただきました。今年度は十月二十

六日(日)第一会館で予定しております。

支部長 平口 照明(観一49年卒)
事務局長 富田 真弓(観一46年卒)

仁尾支部

令和七年度支部総会を七月二十六日(土)に観音寺市の第一会館で開催しました。議事後、恒例の記念講演を開催し、香川県立ミュージアムの芳地智子氏(平成3年卒)による「人身売買文書からみる中世仁尾の暮らし」「千松やあい」を読む」を聴講しました。

続いて懇親会に移り、当日の観一野球部の試合結果などを話題に盛況でした。

支部長 西山 正広(観一44年卒)

豊浜支部

令和七年度四月十三日(日)豊浜支部総会を開催。記念講演を植藤正志先生(観一41年卒)がされた。

支部長 大廣 早苗(観一42年卒)
事務局長 田中 清隆(観一53年卒)



叙勲

(敬称略)

平成二十四年秋の叙勲

瑞宝双光章

(追記)

岩倉 道夫

(観一 36年卒)

(三豊市)

令和六年秋の叙勲

瑞宝中綬章

薄井 洋基

(観一 40年卒)

(山口県宇部市)

石川 隆昭

(観一 47年卒)

(観音寺市)

瑞宝単光章

橋本 稔

(観一 39年卒)

(観音寺市)

森 一夫

(観一 34年卒)

(綾川町)

令和七年春の叙勲

瑞宝小綬章

塩田 政義

(観一 38年卒)

(三豊市)

瀧端 博

(観一 48年卒)

(綾川町)

瑞宝双光章

高橋 茂博

(観一 43年卒)

(観音寺市)

岡田 知子

(観一 57年卒)

(大阪府松原市)

※本欄は、同窓会事務局で把握したものを掲載しております。もし、記載漏れがある場合は同窓会事務局までお知らせください。

大野原支部

令和六年度の大野原支部は十月二十七日(日)に観音寺市大野原福祉会館において総会を開催しました。当日は、藤川善規様(観一 54年卒)を講師にお迎えして、「八十年前、観音寺に飛行場があった」と題し講演をいただきました。引き続き懇親会では、会員五十名が参加し、母校校長、同窓会長らと交流を深めました。

また、来たる十月二十六日(日)に予定する令和七年度の総会では役員改選があり、現支部長の篠原公七(観一 42年卒)が勇退し、新支部長に現副支部長の清水茂昭(観一 45年卒)が就任する予定です。事務局 加地 浩幸(観一 61年卒)

豊中支部

令和七年の豊中支部の総会として、四月二十六日に三野町朝日亭で開催いたしました。

若干参加者に高齢化が目立ってまいりましたが、楽しく和気あいあいにひとときを過ごすことができました。

支部長 真鍋 茂明(観一 44年卒)
事務局 三野 彰(観一 41年卒)

詫間支部

令和六年度支部総会は十一月十六日、三野町の朝日亭で開催しました。本部から藤村育雄副会長、真鍋貴光事務局次長、小山圭二学校長にご来賓いただきました。会計及び事業報告後オカリナ演奏や校歌合唱などで親睦を深めました。令和七年度支部総会は十一月の予定です。

支部会長 松田 行弘(観一 50年卒)
事務局 横山 和季(観一 51年卒)

財田支部

令和六年度は大久保会長、藤川事務局長、小山校長をお迎えし、令和七年二月二十八日に支部総会を開催しました。元丸亀市教育長中野レイ子氏(観一 43年卒)に「子どもたちは、今」と題し講演をしていただきました。元少年院勤務の実践に基づく話などから子どもたちに寄り添う姿勢を学ぶことができました。また、同窓生に会うなど様々な雰囲気を感じることができました。

県庁観一会

県庁観一会は、十月二十五日、高松市内のホテルにて五十二名の出席のもと令和六年度総会を開催しました。現役員とOBの県職員のほか、大久保同窓会長、浜田前知事はじめ、多くの来賓をお迎えし、二十代から七十代まで幅広い年代の出席者が賑やかに交流を深めました。年に一度のこの貴重な機会は、会員がそれぞれの場所から力を発揮していく元気の源となっています。



同窓会役員

※幹事に変更がある場合は、届出書の提出をお願いします

会長 大久保 健二 (観一 41年卒)	大 廣 早 苗 (観一 42年卒)	佐 竹 貴 (観一 32年卒)	藤 川 小 枝 (観一 28年卒)	清 水 千 鶴 (観一 46年卒)	白 川 泉 (観一 62年卒)
副会長 青 山 秀 彦 (観一 47年卒)	木 下 政 晴 (観一 43年卒)	照 明 賢 (観一 49年卒)	鴨 田 英 作 (観一 29年卒)	松 岡 千 鶴 (観一 46年卒)	河 田 圭 一郎 (観一 63年卒)
青 山 小 山 正 辰 (観一 46年卒)	高 橋 勝 久 (観一 35年卒)	賢 三 代 (観一 46年卒)	藤 田 壽 雄 (観一 30年卒)	山 西 俊 一郎 (観一 47年卒)	白 川 恵 理 子 (観一 63年卒)
藤 村 育 雄 (観一 50年卒)	三 野 千 壽 子 (観一 35年卒)	和 真 弓 (観一 46年卒)	入 江 加 代 (観一 30年卒)	高 橋 和 子 (観一 47年卒)	篠 原 正 知 (観一 47年卒)
川 崎 裕 紀 子 (観一 51年卒)	横 山 耕 三 (観一 43年卒)	宗 昭 勝 (観一 37年卒)	野 口 雅 澄 (観一 31年卒)	伊 丹 準 二 (観一 48年卒)	原 加 代 子 (観一 48年卒)
菅 井 元 多 恵 (観一 59年卒)	中 野 玲 子 (観一 43年卒)	新 延 修 (観一 40年卒)	佐 々 木 宏 子 (観一 31年卒)	大 西 喜 子 (観一 48年卒)	壺 井 英 貴 (観一 62年卒)
顧問 森 規 規 (観一 30年卒)	清 水 康 司 (観一 46年卒)	加 地 久 保 (観一 28年卒)	西 川 友 之 (観一 32年卒)	長 船 光 生 (観一 49年卒)	森 智 子 (観一 62年卒)
大 山 晴 (観一 33年卒)	松 岡 千 鶴 (観一 46年卒)	隆 子 (観一 60年卒)	高 嶋 睦 徳 (観一 33年卒)	藤 原 正 清 (観一 50年卒)	宇 賀 聖 (観一 63年卒)
岡 下 信 子 (観一 33年卒)	横 山 真 由 美 (観一 50年卒)	好 光 彰 (観一 41年卒)	石 井 清 満 (観一 34年卒)	横 田 真 由 美 (観一 50年卒)	高 岡 恵 美 子 (観一 63年卒)
浜 田 信 一 (観一 46年卒)	奥 田 拓 己 (観一 57年卒)	三 野 浩 志 (観一 46年卒)	金 崎 敬 子 (観一 34年卒)	柴 田 英 明 (観一 51年卒)	河 田 幸 治 郎 (観一 64年卒)
高 井 信 一 (観一 51年卒)	丸 尾 聡 子 (観一 57年卒)	山 下 時 究 (観一 41年卒)	高 橋 勝 久 (観一 35年卒)	大 平 規 子 (観一 51年卒)	久 保 美 和 (観一 64年卒)
土 井 理 裕 (観一 55年卒)	吉 田 章 作 (観一 60年卒)	松 田 遼 佳 (観一 46年卒)	三 野 千 壽 子 (観一 35年卒)	秋 山 貴 司 (観一 52年卒)	寶 田 伸 介 (観一 65年卒)
小 山 圭 二 (観一 58年卒)	中 山 美 賀 子 (観一 60年卒)	渡 邊 大 西 (観一 39年卒)	合 田 俊 典 (観一 36年卒)	白 井 啓 子 (観一 52年卒)	小 山 貴 世 (観一 65年卒)
支部理事 篠 原 義 彦 (観一 47年卒)	寶 田 貴 世 (観一 65年卒)	大 廣 隆 生 (観一 44年卒)	高 井 寿 美 子 (観一 36年卒)	池 田 智 香 子 (観一 53年卒)	牛 尾 英 之 (観一 66年卒)
藤 田 修 一 (観一 40年卒)	小 山 貴 世 (観一 65年卒)	合 田 政 晴 (観一 43年卒)	今 宮 健 三 (観一 37年卒)	森 賢 晃 (観一 54年卒)	寶 田 真 喜 子 (観一 66年卒)
尾 崎 美 樹 (観一 55年卒)	加 賀 宇 等 (観一 60年卒)	近 藤 雅 広 (観一 44年卒)	山 下 淳 子 (観一 37年卒)	宮 下 雅 子 (観一 54年卒)	尾 野 恵 美 子 (観一 67年卒)
宮 崎 寿 一 (観一 42年卒)	玉 樹 和 美 (観一 47年卒)	秋 山 和 生 (中20年卒)	村 上 敬 子 (観一 38年卒)	香 川 政 人 (観一 55年卒)	事務局次長 田 中 靖 (観一 51年卒)
合 田 耕 三 (観一 46年卒)	藤 田 修 一 (観一 40年卒)	藤 本 順 子 (三女21年卒)	宇 高 裕 子 (観一 39年卒)	石 川 淳 視 (観一 55年卒)	眞 鍋 貴 光 (観一 62年卒)
佐 佐 木 耕 造 (観一 41年卒)	高 橋 憲 一 (観一 38年卒)	安 藤 定 子 (三女22年卒)	新 延 修 (観一 40年卒)	菅 幸 二 (観一 56年卒)	事務局(学校) 青 野 靖 (観一 60年卒)
平 口 照 明 (観一 49年卒)	藤 田 憲 一 (観一 36年卒)	北 野 澄 子 (三女23年卒)	中 野 悦 子 (観一 40年卒)	成 行 真 由 美 (観一 56年卒)	高 橋 司 枝 (観一 62年卒)
小 野 敬 二 (観一 49年卒)	佐 川 弘 治 郎 (観一 40年卒)	森 義 晃 (観一 25年卒)	請 川 裕 之 (観一 41年卒)	奥 田 拓 己 (観一 57年卒)	事務局 白 井 啓 子 (観一 52年卒)
安 藤 修 修 (観一 40年卒)	瀧 本 清 文 (観一 40年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)	濱 田 友 造 (観一 42年卒)	豊 田 孝 子 (観一 57年卒)	敦 夫 (観一 56年卒)
篠 原 公 七 (観一 42年卒)	宮 本 耕 三 (観一 46年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)	野 原 耕 三 (観一 43年卒)	新 田 孝 子 (観一 58年卒)	監査 石 川 義 昭 (観一 30年卒)
真 鍋 茂 明 (観一 44年卒)	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)	中 野 玲 子 (観一 43年卒)	入 谷 寛 枝 (観一 58年卒)	西 原 加 根 (観一 56年卒)
松 田 行 弘 (観一 50年卒)	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)	黒 田 俊 子 (観一 44年卒)	合 田 俊 午 (観一 59年卒)	
西 山 正 広 (観一 44年卒)	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)	茨 木 利 勝 (観一 45年卒)	宇 川 明 美 (観一 59年卒)	
	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)	石 川 令 子 (観一 45年卒)	吉 田 章 作 (観一 60年卒)	
	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)		中 山 美 賀 子 (観一 60年卒)	
	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)		石 川 義 和 (観一 61年卒)	
	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)		渡 邊 久 美 子 (観一 61年卒)	
	中 谷 剛 裕 (観一 41年卒)	幸 男 恵 (観一 25年卒)		川 裕 一 郎 (観一 62年卒)	

母校だより

本校は創立百二十年の歴史を越えて、今新たな世紀へと歩んでいます。「我らに燃ゆる希望（のぞみ）あり。我らに高き矜持（ほこり）あり。我らに重き使命（しめい）あり」の校訓のもと、伝統である質実剛健の気風の中、勉学に、部活動に励んでいます。以下に、学校行事、大学合格状況、部活動状況を挙げてみます。

1. 学校行事



「令和7年度生徒教養講座」（5月26日）
中京大学 スポーツ科学部教授 國土将平様（観-57年卒）
「研究・学者への誘い ～発育発達学者の研究人生～」

SSHの取り組み

令和7年度に生徒たちが参加したたくさんの行事のうちの一部を紹介します。

- SSH課題研究発表会を6月16日に鹿児島県立国分高等学校とオンラインで合同開催し、両校理数科3年生による研究発表を行いました。両校の1、2年生も発表を視聴し、発表に対して質疑を行い、先輩たちの研究内容を理解するだけでなく、いづれ自分たちが行っていく研究へのイメージを膨らませることができました。



SSH課題研究発表会（6月16日）

- 第49回全国高等学校総合文化祭自然科学部門が7月26日～28日に香川大学幸町キャンパスおよび高松中央高等学校で行われ、理数科3年生6グループが課題研究の成果を発表しました。当日の運営にも自然科学系部活動（電気部、化学部、生物部、天体部）の生徒が30名ほど参加し、全国から参加された方々の発表が滞りなく進むように円滑な運営を補助しました。このうち3名は自然科学部門生徒部門委員も務め、大会全体の計画にも携わりました。この他の発表会として、8月6、7日に神戸市で行われたSSH生徒研究発表会をはじめとして、日本物理教育学会中国四国支部学術講演会におけるジュニアセッション（7月26日）、第11回かはく科学研究プレゼンテーション大会（8月3日）、第27回中国四国九州地区理数科高等学校課題研究発表大会（8月20、21日）、マズフェスタ（8月23日）に参加し、ステージ発表やポスター発表を行い、生徒たちは他校や研究者の方々との交流ができました。どの発表会や学会でも日頃の研究成果を堂々と発表しており、生徒たちは本当によく頑張っていました。



自然体験合宿（7月30日～8月1日）

- 近年のオンライン交流の蓄積を生かして、今年もFESTAT2025全国統計探究発表会（8月16日）を、バーチャル空間にて本校が主催し、全国13校39グループで研究発表や交流を行いました。

2. 大学合格状況

（ ）内は過年度生

東北大	1	高知工科大	1
秋田大	1 (1)	高知県立大	2 (1)
埼玉大	1 (1)	◇公立大小計	23 (4)
千葉大	2 (1)	◇国公立大計	77 (12)
東京農工大	1 (1)	青山学院大	1
信州大	1	慶応大	2
静岡大	1	上智大	2
滋賀大	2	津田塾大	3
大阪大	1	東京女子大	1
大阪教育大	2	東京理科大	4
兵庫教育大	1	日本大	5
鳥取大	1	日本女子大	2
鳥根大	1	法政大	1
岡山大	4	明治大	7
広島大	4 (1)	立教大	1
徳島大	4	早稲田大	2
香川大	18 (1)	京都産業大	13
愛媛大	3 (1)	京都女子大	5 (1)
高知大	3	同志社大	8
長崎大	1	同志社女子大	4
熊本大	1 (1)	立命館大	8 (5)
◇国立大小計	54 (8)	龍谷大	26 (2)
旭川市立大	1	関西大	11 (2)
千葉保健医療大	1	近畿大	39 (6)
長岡造形大	1 (1)	関西学院大	21 (8)
大阪公立大	1 (1)	神戸学院大	20 (2)
兵庫県立大	2 (1)	四国学院大	4 (1)
鳥根県立大	1	徳島文理大(香川)	14 (1)
岡山県立大	3	松山大	12
尾道市立大	3	その他	88 (12)
県立広島大	1	◇私立大小計	304 (40)
叡啓大	1	◇短期大学小計	3
広島市立大	1	◇各種学校小計	12
周南公立大	1	◎合計	393 (52)
香川保健医療大	3	◇就職	1

- また、外国人研究者を招いてのサイエンスダイアログ（8月22日）、川崎医科大学医学部医学科での研究室体験研修（8月5日～6日）、大阪大学大学院工学研究科での研究室体験研修（8月5日～7日）、西はりま天文台や理化学研究所での自然体験合宿（7月30日～8月1日）、阪大微生物病研究会瀬戸センター、アオイ電子株式会社を訪れる企業訪問研修（8月25日）を実施し、研究の方法や科学に関する幅広い知識を学ぶことができました。この学びを生かして、将来の夢や希望に向かって日々の学習に取り組んでくれたら幸いです。



川崎医科大学医学部
研究室体験研修
（8月5日～6日）

日々の取り組みは、随時本校のウェブサイト
で発信していますので、ぜひご覧ください。以下
の二次元バーコードからでもご覧になれます。



運動部

☆四国大会出場

☆◇全国大会出場

【女子】	【男子】	【女子】	【男子】
一回戦	一回戦	一回戦	一回戦
0 - 3	1 - 3	0 - 2	2 - 0
(香川西)	(高松商業)	(高松西)	(高松工芸)
ベスト8	ベスト8		

【男子】 バドミントン部 個人 ダブルス ベスト 32 高津 優希 長谷川 遼生	■新体操部 個人 出場 請川 心美	■野球部 令和七年 度 第一〇七回 全国高等学校 野球選手権大会 （高松二志）
--	---	--

- **電気部**
第49回 全国高等学校総合文化祭
自然科学部門 出場
ポスター発表部門 出場
- **化学部**
第49回 全国高等学校総合文化祭
自然科学部門 出場
研究発表部門 出場
ダンボールベッド班
ゲーミング反応班
- **生物部**
第49回 全国高等学校総合文化祭

学
芸
部

令和七年 第一回 全国高等学校
野球選手権大会
三回戦 香川高等
三回戦 香川高等
準々決勝 1 3 1 2 8
準決勝 5 2 1 0 6
決勝 1 3 1 2 8
(高松工業)
(高松北)
(坂出商業)
(尽誠学園)

- 電気部 第49回全国高等学校総合文化祭
ポスター発表部門出場
- 化学部 第49回全国高等学校総合文化祭
自然科学部門
ダンボールヘッド班
- 生物部 第49回全国高等学校総合文化祭
自然科学部門
ゲーミング反応班
- 邦楽部 第49回全国高等学校総合文化祭
日本音楽部門
イシクラゲ班
エチレン班
海浜植物班

定
時
制

第74回香川県高等学校定時制通信制課程
総合体育大会

■バドミントン競技
【男子】
学校対抗の部 ◇優

個人対抗の部	学校対抗の部
2位	◇優勝
井山下	浦川
井岡	小堀
山岡	豊川
悠叶	歩夢
悠介	虎騎
駿人	
尚大	

個人対抗の部
■陸上競技
【男子】
2位

【女子】砲丸投 走幅跳 2000m

◇◇◇◇
2 2 1 2
位位位位

細入細岩
川江川田

周 大
晴作晴和

24
00
00
mm

◇◇
21
位位

合合
田田

心心
愛愛

[illegible]

【男子】 団体	【女子】 個人	【男子】 個人	【男子】 個人	【女子】 団体	【女子】 個人	【男子】 団体	【男子】 団体	【男子】 団体	【男子】 団体
山岳部	アール チエリ部	二回戦進出	一回戦	三回戦進出	一回戦	剣道部	70 kg級	柔道部	70 kg級
ベスト8	4位	7位	0-4 (丸亀)	1-2 (三木)	☆2位	岡田 天音	山口 大樹	山口 大樹	山口 大樹
土田・加藤	長谷川・合田	小山 泰季	内林 愛	勝部壮太郎	勝部壮太郎	勝部壮太郎	勝部壮太郎	勝部壮太郎	勝部壮太郎
岩田	久保								

4	や	円	砲	棒	1	8	8	4	フ	ト	総
×	り	盤	丸	高	5	0	0	0	イ	ラ	合
4	投	投	投	跳	0	0	0	0	ッ		
0					0	mm			ル	ク	
0					m				ド		
m											
☆	リ	◇	☆	◇	◇	☆	☆	◇	◇		
4	レ	6	4	3	3	1	4	6	2	3	2
5											
3											
位	1	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位

三	裏	大	旭	大	池	吉	平
大	山	山	山	西	田	尾	
宅							
西							
・							
・							
平	元	遥	遥	龍	修	仰	駿
池	就	光	真	暉	太	良	太
尾							

[illegible]

頑張る後輩たち

部活動振興奨励費を以下の9つの部活動に援助することができました。

平素より陸上部へのご支援、ご協力深く感謝しております。今年度は部活動振興奨励費で競技用具を購入させていただきました。



今年度は、四国高校総体へは27名の選手がエントリーすることができました。その中で7名の選手が広島県で行われました全国高校総体陸上競技大会へ出場いたしました。男子棒高跳で2位、女子棒高跳で4位という結果を収めることができました。これもひとえに同窓会の方々のご支援のおかげと考えております。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。



このたびは、同窓会より援助をいただきグラウンド用レーキを2台購入させていただきました。購入したレーキでグラウンドを整備するだけでなく、トレーニングにも活用し、全国大会出場を目指し日々精進いたします。今後とも大切に使用していきます。



アーチェリー部へのご支援ありがとうございます。いただいたご支援でリムを購入させていただきました。生徒の筋力に応じてのステップアップに必要な用具で、日々の活動や試合で活用させていただいています。今年度は四国総体男子個人出場、また男子1名が滋賀県で開催される国民スポーツ大会に出場します。今後ともよろしくお願いいたします。

野球部へのご支援ありがとうございます。フィジカル強化のためにトレーニング器具を購入させていただきました。



今年度、全国高等学校野球選手権香川大会において準決勝で敗退しましたが、甲子園出場を目標に日々精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



バレーボール部へのご支援ありがとうございます。故障していたボールカゴおよび試合球を購入させていただきました。

今年度、県総体において目標であるベスト8進出を2年連続で達成することができました。これからも日々精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



このたびは、バスケットボール部へのご支援ありがとうございます。普段の練習から大会で使用するボールを使うことができています。また、練習試合だけでなく、大会等の会場になることもあり、正規のルールに対応した物品を使うことでスムーズな進行ができています。少しでも良い報告ができるように日々努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



このたびは邦楽部へのご支援を賜り、誠にありがとうございました。全国大会で使用する箏の糸の整備のために使わせていただきました。お箏の糸は傷んでしまうとよい音が出ません。今回数面の箏の糸締めをすることができ、全国大会という大きな舞台で、とくに、今年は香川県で開催されましたので、例年より多くの保護者の皆さま、観客の皆様に精一杯の演奏を披露することができました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



このたびは書道部へのご支援ありがとうございます。書道パフォーマンスで使用する大筆を購入させていただきました。うどん県書道パフォーマンス大会や書道パフォーマンスグランプリ等の各種大会、地域のイベントでも使用します。大切に使用していきます。今後ともよろしくお願いいたします。



同窓会より支援していただき購入した喫架と円椅を、早速新入生歓迎茶会で使わせていただきました。喫架があることで場が華やかになるとともに、お茶を点てる場所が広くなり、落ち着いてお点前を披露することができました。おかげさまで新入部員が9名も入りました。長く大切に使用していきたいです。次は観一祭でのお茶会に向けて頑張っています。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

令和7年度 観一同窓会報
発行人
香川県立観音寺第一高等学校
同窓会長 大久保 健二
TEL 0875-2541155
ホームページアドレス
<https://www.k1dousou.jp/>



① コンビニ・スマホ決済

金額欄の訂正はできません。ご家族の会員は、それぞれの用紙で別々に振り込んでいただくことになります。

② 郵便局で振り込む

ご家族の会員の会費をまとめて1枚の用紙で振り込むことができます。通信欄に、必ずそれぞれの会員の氏名と卒年、旧姓等を正確にお書きください。また、年会費に併せて一般寄付も受け付けています。

事務局からのお知らせと会費納入について

- 最近、会員名簿発行の時期に合わせ、観一同窓会事務局と名乗って、広告・寄付金の勧誘や、現住所を聞いてくることもあるようです。観一同窓会からの連絡は、すべて栞サートを通じて会長名で出しています。ご注意ください。
- 令和7年度会費は2,000円です。
- 同窓会は、会員の皆様に納入していただいた会費によって運営されています。コンビニ・スマホ決済または郵便局から振り込みいただき、同窓会の活動にご協力ください。また、同一住所の会員の方は一つにまとめて年長の方にお送りしています。ご家族の会員の方は、左記のいずれかの方法でご入金ください。
- 会費の納入は令和8年3月末日までにお願ひします。